

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
 健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
 謹白

記

■ 実施日 2021年12月16日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

| 項目コード | 検査項目 JLAC10 | 検体量 (mL) | 容器 | 保存 (安定性) | 所要 日数 | 実施料 判断料 | 検査 方法 | 基準値 (単位) | 備考 |
|-------|---|---|-----------------------------------|-------------|----------|-----------------------|---|-------------|----------|
| OE499 | アルドステロン〔CLEIA〕 /レニン活性比 4D120-0000-022-919 | 冷却速心 血漿 1.2 | PN2,PN5 (C) ↓ A00 (X) | 凍結 (14日) | 3~5 | 125 + 100 ※5 | アルドステ ロン: CLEIA レニン活性 : EIA | 裏面 参照 | 下記 参照 |

※5: 生化学的検査(Ⅱ)判断料

- 基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。

【関連項目情報】

- 日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」に準拠したカットオフ値(アルドステロン/レニン活性比 200以下)をご利用される場合は、「8053 4:アルドステロン/レニン活性比」をご依頼ください。
 本項目の導入に伴い「8053 4:アルドステロン/レニン活性比」の総合検査案内の備考欄を「基準値は、日本高血圧学会の「高血圧治療ガイドライン2019」によるカットオフ値です。活性比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。」に変更いたします。



● アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比

「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」の演算法・カットオフ値に対応した項目です。

二次性高血圧の主な原因とされる原発性アルドステロン症（primary aldosteronism：PA）は、高血圧において約5%を占めることが報告されています。

日本内分泌学会「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」ではPAのスクリーニング検査としてCLEIA法による血漿アルドステロン濃度（PAC）および、血漿アルドステロン濃度（PAC）と血漿レニン活性（PRA）または活性型レニン濃度（ARC）との比（ARR）が指標とされています。

▼検査要項

| 検査項目名 | アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比 |
|----------|--|
| 項目コード | 親：OE49 9 アルドステロン（CLEIA）/レニン活性比 子：OE50 9 アルドステロン（CLEIA） 子：OE51 6 レニン活性（EIA） 子：OE52 3 アルドステロン（C）/レニン活性比 |
| 検体量 | 冷却遠心 血漿 1.2 mL |
| 容器 | PN2, PN5 (C) → A00 (X) ポリスピッツ |
| 保存方法 | 必ず凍結保存してください |
| 所要日数 | 3~5 日 |
| 検査方法 | アルドステロン：CLEIA、レニン活性：EIA |
| 基準値 | 下記参照 |
| 報告範囲（単位） | アルドステロン（CLEIA）：4.0未満、4.0~99900000 (pg/mL) レニン活性（EIA）：0.2未満、0.2~99900000 (ng/mL/hr) アルドステロン（C）/レニン活性比：~99900000 |
| 桁数 | アルドステロン（CLEIA）：有効3桁、整数8桁、小数1桁 レニン活性（EIA）：有効3桁、整数8桁、小数1桁 アルドステロン（C）/レニン活性比：有効3桁、整数8桁、小数0桁 |
| 検査実施料 | 125点+100点 （「D008」内分泌学的検査「14」+「D008」内分泌学的検査「7」） |
| 判断料 | 144点（生化学的検査（Ⅱ）判断料） |
| 備考 | 基準値は、日本内分泌学会の「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」によるカットオフ値です。 |

[OE49 9]アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比 の留意事項

- 採血条件は早朝空腹時の安静臥位後が望ましいが、スクリーニングでは随時座位で行って良い、とされています。

[OE49 9]アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比 基準値

| | |
|-----------------------------|------------|
| アルドステロン〔CLEIA〕 (pg/mL) | 4.0~82.1 |
| レニン活性 (PRA)〔EIA〕 (ng/mL/hr) | 臥位 0.2~2.3 |
| | 座位 0.2~3.9 |
| | 立位 0.2~4.1 |
| アルドステロン〔CLEIA〕/レニン活性比 | 100未満 |

- ※ 陽性判定は、活性比 ≥ 200 かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLです。ただし、「ARR境界域」の活性比100~200未満かつ血漿アルドステロン濃度 ≥ 60 pg/mLの場合には、暫定的に陽性とされます。
- ※ 暫定的に陽性の場合、患者ニーズと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能確認検査実施の可否を個別に検討する、とされています。

●参考文献

- 佐藤 文俊, 他：医学と薬学 76 (12) : 1819~1826, 2019. (検査方法参考文献)
 宇津 貴央, 他：医学と薬学 73 (3) : 311~321, 2016. (検査方法参考文献)
 日本内分泌学会：日本内分泌学会雑誌 97 (Suppl) : 16~21, 2021. (臨床的意義参考文献)